



CHAPTER 2

ネットワークに Cisco Unified IP Phone を 設置するための準備

Cisco Unified IP Phone を使用すると、データ ネットワークを経由して、音声を使用して通信できるようになります。この機能を提供するために、IP Phone では、Cisco Unified Communications Manager (Cisco Unified CM) など、他の主要な Cisco Unified IP テレフォニー コンポーネントを使用し、それらと連携します。

この章では、Cisco Unified IP Phone 6921、6941、および 6961 と、Cisco Unified CM、DNS サーバ、DHCP サーバ、TFTP サーバ、およびスイッチとの間で行われる相互対話を中心に説明します。また、電話機への電源供給に関するオプションについても説明します。

音声通信と IP 通信については、次の URL を参照してください。

<http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/index.html>

この章では、Cisco Unified IP Phone と Voice over IP (VoIP) ネットワークの他の主要コンポーネントとの間で行われる相互対話の概要について説明します。この章は、次の項で構成されています。

- 「他の Cisco Unified IP Communications 製品との連携について」 (P.2-1)
- 「Cisco Unified IP Phone への電力供給」 (P.2-3)
- 「電話機の設定ファイルについて」 (P.2-5)
- 「電話機の起動プロセスについて」 (P.2-7)
- 「Cisco Unified CM データベースへの電話機の追加」 (P.2-8)
- 「さまざまなプロトコルを用いた Cisco Unified IP Phone の使用」 (P.2-11)
- 「Cisco Unified IP Phone の MAC アドレスの特定」 (P.2-13)

他の Cisco Unified IP Communications 製品との連携について

Cisco IP Phone を IP テレフォニー ネットワークで機能させるには、IP Phone を Cisco Catalyst スイッチなどのネットワーク デバイスに接続する必要があります。コールを発着信できるようにするには、Cisco Unified IP Phone を Cisco Unified CM システムに登録する必要があります。

この項では、次のトピックについて取り上げます。

- 「Cisco Unified IP Phone が Cisco Unified CM と連携する方法について」 (P.2-2)
- 「Cisco Unified IP Phone が VLAN と連携する方法について」 (P.2-2)

Cisco Unified IP Phone が Cisco Unified CM と連携する方法について

Cisco Unified CM は、業界標準のオープンなコール処理システムです。Cisco Unified CM ソフトウェアは、従来の PBX 機能を企業の IP ネットワークに統合して、電話機間でコールを確立および切断します。Cisco Unified CM は、電話会議やルート プランなどの機能で必要になる IP テレフォニー システムのコンポーネント（電話機、アクセス ゲートウェイ、およびリソース）を管理します。また、Cisco Unified CM には、次の機能もあります。

- 電話機のファームウェアの提供
- TFTP サービス経由での設定ファイルの提供
- 認証および暗号化（テレフォニー システム用に設定されている場合）
- 電話機の登録
- コールの保存。この機能により、プライマリ CM と電話機間でシグナリングが消失してもメディアセッションが継続されます。

この章で説明している IP デバイスと連携するための Cisco Unified CM の設定方法については、『Cisco Communications Manager Administration Guide』の「Cisco Unified IP Phone Configuration」の章を参照してください。

Cisco Unified IP Phone のセキュリティ機能の概要については、「Cisco Unified IP Phone のセキュリティ機能について」(P.1-14) を参照してください。



(注)

設定しようとする Cisco Unified IP Phone のモデルが、Cisco Unified CM の管理ページの [電話のタイプ (Phone Type)] ドロップダウンリストに表示されない場合は、次の URL にアクセスして、使用している Cisco Unified CM バージョンの最新のサポート パッチをインストールします。

<http://www.cisco.com/kobayashi/sw-center/sw-voice.shtml>

詳細については、『Cisco Unified Communications Operating System Administration Guide』の「Software Upgrades」の章を参照してください。

関連項目

- 「Cisco Unified IP Phone で使用可能なテレフォニー機能」(P.5-1)

Cisco Unified IP Phone が VLAN と連携する方法について

Cisco Unified IP Phone 6921、6941、および 6961 はイーサネット スイッチが内蔵されているため、パケットを電話機に転送することも、電話機の背面にあるアクセス ポートとネットワーク ポートに転送することもできます。

アクセス ポートにコンピュータを接続した場合、コンピュータと電話機は、スイッチへの同じ物理リンクとスイッチ上の同じポートを共有します。このように物理リンクが共有されるため、ネットワークの VLAN 設定について、次のような考慮事項が存在します。

- 現在の VLAN を IP サブネット ベースで設定することは可能です。ただし、追加の IP アドレスを取得して、同じポートに接続されている他のデバイスと同じサブネットに電話機を割り当てることはできません。
- 電話機をサポートする VLAN 上に存在するデータ トラフィックによって、Voice over IP トラフィックの品質が低下する可能性があります。

- ネットワーク セキュリティを確保するために、VLAN 音声トラフィックと VLAN データ トラフィックの分離が必要になることがあります。

これらの問題は、音声トラフィックを別の VLAN 上に分離することで解決できます。電話機の接続先となるスイッチ ポートには、次の 2 つのトラフィックの伝送用に、それぞれ別個の VLAN を設定します。

- IP Phone で送受信される音声トラフィック (Cisco Catalyst 6000 上などの補助 VLAN)
- IP Phone のアクセス ポート経由でスイッチに接続されている PC で送受信されるデータ トラフィック (ネイティブ VLAN)

電話機を独立した補助 VLAN に分離すると、音声トラフィックの品質が向上するとともに、各電話機に割り当てるための IP アドレスが十分でない既存ネットワークに対しても、多数の電話機を追加できるようになります。

詳細については、Cisco スイッチに添付されているマニュアルを参照してください。スイッチに関する情報には、次の URL からアクセスできます。

<http://cisco.com/en/US/products/hw/switches/index.html>

関連項目

- 「電話機の起動プロセスについて」(P.2-7)
- 「[ネットワークのセットアップ (Network Setup)] メニュー」(P.4-4)

Cisco Unified IP Phone への電力供給

Cisco Unified IP Phone 6921、6941、および 6961 には、外部電源または Power over Ethernet (PoE) から電力を供給できます。外部電源は、独立型の電源を通じて提供されます。PoE は、イーサネット ケーブルを介して電話機に接続されているスイッチによって提供されます。



(注)

外部電源から電力が供給される電話機を設置する場合は、イーサネット ケーブルを電話機に接続する前に、電源装置を電話機とコンセントに接続してください。外部電源から電力が供給されている電話機を取り外す場合は、電源装置を取り外す前に、イーサネット ケーブルを電話機から取り外してください。

電話機への電力供給の詳細については、次の各項で説明します。

- 「電力に関するガイドライン」(P.2-4)
- 「停電」(P.2-4)
- 「電力に関する追加情報の入手」(P.2-5)

電力に関するガイドライン

表 2-1 は、Cisco Unified IP Phone 6921、6941、および 6961 の電源に関するガイドラインを示しています。

表 2-1 Cisco Unified IP Phone 6921、6941、および 6961 の電源に関するガイドライン

電力の種類	ガイドライン
外部電源：CP-PWR-CUBE-3 外部電源装置から供給	Cisco Unified IP Phone 6921、6941、および 6961 は、CP-PWR-CUBE-3 電源を使用します。
外部電源：Cisco Unified IP Phone パワー インジェクタを通じて電力を供給	Cisco Unified IP Phone パワー インジェクタは、どの Cisco Unified IP Phone にも使用できます。インジェクタは、ミッドスパン デバイスとして機能し、接続されている電話機にインラインパワーを供給します。Cisco Unified IP Phone パワー インジェクタは、スイッチ ポートと IP Phone 間に接続されます。また、通電していないスイッチと IP Phone 間で最大 100 m のケーブル長をサポートします。
PoE 電源：イーサネット ケーブルを介して電話機に接続されているスイッチを通じて電力を供給	<ul style="list-style-type: none"> Cisco Unified IP Phone 6921、6941、および 6961 は、信号ペアおよび予備のペアで IEEE 802.3af Class 2 電源をサポートします。 電話機を無停電で運用するには、スイッチがバックアップ電源を備えている必要があります。 スイッチ上で実行されている CatOS または IOS のバージョンが、予定している電話機配置をサポートしていることを確認します。オペレーティング システムのバージョンに関する情報については、スイッチのマニュアルを参照してください。
外部電源：インライン パワー パッチパネル WS-PWR-PANEL から供給	インライン パワー パッチパネル WS-PWR-PANEL は、Cisco Unified IP Phone 6921、6941、および 6961 と互換性があります。

停電

電話機で緊急サービスにアクセスできるかどうかは、電源が供給されている電話機に依存します。電源障害がある場合、電源が復旧するまで、利用および緊急コール サービス ダイヤルは機能しません。電源の異常および障害が発生した場合は、装置をリセットまたは再設定してから、利用および緊急コール サービスへのダイヤルを行う必要があります。

電力に関する追加情報の入手

電力については、表 2-2 に示したドキュメントを参照してください。これらのドキュメントでは、次のトピックについて情報を提供しています。

- Cisco Unified IP Phone 6921、6941、および 6961 と連携する Cisco スイッチ
- 双方向電力ネゴシエーションをサポートしている Cisco IOS リリース
- 電力に関するその他の要件および制限事項

表 2-2 電力関連の情報

ドキュメントのトピック	URL
Cisco Unified IP Phone パワーインジェクタ	http://www.cisco.com/en/US/products/ps6951/index.html
PoE ソリューション	http://www.cisco.com/en/US/netsol/ns340/ns394/ns147/ns412/networking_solutions_package.html
Cisco Catalyst スイッチ	http://cisco.com/en/US/products/hw/switches/index.html
サービス統合型ルータ	http://www.cisco.com/en/US/products/hw/routers/index.html
Cisco IOS ソフトウェア	http://www.cisco.com/en/US/products/sw/iosswrel/products_ios_cisco_ios_software_category_home.html

電話機の設定ファイルについて

電話機の設定ファイルは TFTP サーバに保存されており、Cisco Unified CM に接続するためのパラメータを定義しています。通常は、電話機のリセットが必要になる変更を Cisco Unified CM で行うと、変更内容が電話機の設定ファイルに自動的に適用されます。

設定ファイルには、電話機がどのイメージロードを実行するかも記述されています。このイメージロードが電話機にロードされているものと異なる場合、電話機は TFTP サーバにアクセスし、必要なロードファイルを要求します。

次の条件を満たしている場合、電話機は、TFTP サーバにある XmlDefault.cnf.xml という名前のデフォルト設定ファイルにアクセスします。

- Cisco Unified CM で自動登録を有効にした。
- 該当する電話機が、Cisco Unified CM データベースにまだ追加されていない。
- 該当する電話機を初めて登録する。

さらに、設定ファイルでデバイスセキュリティモードが認証済みに設定され、電話機の CTL ファイルに Cisco Unified CM で有効な証明書がある場合、電話機は Cisco Unified CM との TLS 接続を確立します。それ以外の場合、電話機は TCP 接続を確立します。



(注)

設定ファイルのデバイスセキュリティモードはセキュアに設定されているが、電話機が CTL ファイルを受け取っていない場合、その電話機はセキュアな登録ができるよう CTL ファイルの取得を 4 回試行します。



(注)

ただし、クラスタ間の Cisco エクステンション モビリティの場合は例外で、電話機は Cisco Unified CM との TLS 接続を許可し、CTL ファイルがなくてもセキュアシグナリングを可能にします。

Cisco Unified CM の管理ページでセキュリティ関連の設定を行うと、電話機の設定ファイルに機密情報が保存されます。設定ファイルのプライバシーを確保するには、そのファイルを暗号化用に設定する必要があります。詳細については、『*Cisco Unified Communications Manager Security Guide*』の「[Configuring Encrypted Phone Configuration Files](#)」の章を参照してください。電話機がリセットされて Cisco Unified CM に登録されるたびに、その電話機は設定ファイルを要求します。

電話機は、Cisco Unified CM および TFTP に割り当てられた証明書が格納された有効な信頼リストファイルを受け取っていない場合のみ、`XmlDefault.cnf.xml` という名前のデフォルト設定ファイルにアクセスします。

自動登録が有効になっておらず、電話機が Cisco Unified CM データベースに追加されていない場合、その電話機は Cisco Unified CM への登録を試行しません。自動登録を有効にするか、電話機を Cisco Unified CM データベースに追加するまで、電話機には「IP を設定中 (Configuring IP)」というメッセージが継続的に表示されます。

該当する電話機が以前に登録されていた場合、その電話機は、`SEPmac_address.cnf.xml` という名前の設定ファイルにアクセスします。`mac_address` は、電話機の MAC アドレスです。

SIP 電話機の場合、TFTP サーバによって次の SIP 設定ファイルが生成されます。

- SIP IP Phone :
 - 署名も暗号化もされていないファイル : `SEP<mac>.cnf.xml`
 - 署名されているファイル : `SEP<mac>.cnf.xml.sgn`
 - 署名され、暗号化されているファイル : `SEP<mac>.cnf.xml.enc.sgn`
- ダイヤル プラン : `<dialplan>.xml`
- ソフトキー テンプレート : `<softkey_template>.xml`

これらのファイル名は、Cisco Unified CM の管理ページで [電話の設定 (Phone Configuration)] ウィンドウにある [MAC アドレス (MAC address)] フィールドと [説明 (description)] フィールドから生成されます。電話機は、MAC アドレスによって一意に識別されます。

電話の設定の詳細については、『*Cisco Communications Manager Administration Guide*』の「[Cisco Unified IP Phone Configuration](#)」の章を参照してください。

詳細については、『*Cisco Unified Communications Manager Security Guide*』も参照してください。

電話機の起動プロセスについて

Cisco Unified IP Phone 6921、6941、および 6961 は、VoIP ネットワークに接続するとき、表 2-3 に示す標準の起動プロセスを実行します。ネットワークのセットアップによっては、Cisco Unified IP Phone でこれらのステップの一部が発生しないこともあります。

表 2-3 Cisco Unified IP Phone の起動プロセス

タスク	目的	関連項目
1.	<p>スイッチからの電力の取得</p> <p>電話機が外部電源を使用していない場合は、電話機に接続されているイーサネット ケーブルを通じて、スイッチがインラインパワーを供給します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「Cisco Unified CM データベースへの電話機の追加」(P.2-8) 「起動時の問題の解決」(P.9-1)
2.	<p>保存されている電話イメージのロード</p> <p>Cisco Unified IP Phone は、ファームウェア イメージとユーザ定義の設定値を保存するための不揮発性フラッシュ メモリを備えています。電話機は、フラッシュ メモリに保存されている電話イメージをロードするブートストラップ ロダーを起動時に実行します。このイメージを使用して、電話機は自身のソフトウェアとハードウェアを初期化します。</p>	「起動時の問題の解決」(P.9-1)
3.	<p>VLAN の設定</p> <p>Cisco Unified IP Phone を Cisco Catalyst スイッチに接続している場合、スイッチは、スイッチ上に定義されているボイス VLAN を電話機に通知します。電話機が Dynamic Host Configuration Protocol (DHCP) 要求を使用して IP アドレスの取得を開始するには、自身の VLAN メンバーシップを電話機があらかじめ把握している必要があります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「[ネットワークのセットアップ (Network Setup)] メニュー」(P.4-4) 「起動時の問題の解決」(P.9-1)
4.	<p>IP アドレスの取得</p> <p>Cisco Unified IP Phone で DHCP を使用して IP アドレスを取得する場合、電話機は DHCP サーバにクエリを発行してアドレスを取得します。ネットワークで DHCP を使用していない場合は、個々の電話機がある場所でスタティック IP アドレスを手動で割り当てる必要があります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「[ネットワークのセットアップ (Network Setup)] メニュー」(P.4-4) 「起動時の問題の解決」(P.9-1)
5.	<p>TFTP サーバへのアクセス</p> <p>DHCP サーバは、IP アドレスを割り当てるほかに、Cisco Unified IP Phone に対して TFTP サーバも指定します。電話機の IP アドレスを静的に定義した場合は、電話機がある場所で TFTP サーバを設定する必要があります。設定すると、電話機は TFTP サーバに直接アクセスします。</p> <p>(注) DHCP で割り当てられる TFTP サーバの代わりに、代替 TFTP サーバを割り当てて使用することもできます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「[ネットワークのセットアップ (Network Setup)] メニュー」(P.4-4) 「起動時の問題の解決」(P.9-1)

表 2-3 Cisco Unified IP Phone の起動プロセス (続き)

タスク	目的	関連項目
6.	CTL ファイルの要求 TFTP サーバには、Certificate Trust List (CTL; 証明書信頼リスト) ファイルが保存されています。CTL ファイルには、電話機と Cisco Unified CM とのセキュアな接続を確立するために必要な証明書が格納されます。	『Cisco Unified Communications Manager Security Guide』の「Configuring the Cisco CTL Client」の章を参照してください。
7.	設定ファイルの要求 TFTP サーバは、設定ファイルを保持しています。このファイルは、Cisco Unified CM に接続するためのパラメータに加え、電話機に関するその他の情報を定義しています。	<ul style="list-style-type: none"> 「Cisco Unified CM データベースへの電話機の追加」(P.2-8) 「起動時の問題の解決」(P.9-1)
8.	Cisco Unified CM へのアクセス 設定ファイルは、Cisco Unified IP Phone が Cisco Unified CM とどのように通信するかを定義し、電話機にロード ID を提供します。電話機は、このファイルを TFTP サーバから取得すると、リストで優先順位が最も高い Cisco Unified CM への接続を確立しようとします。 電話機をデータベースに手動で追加した場合は、Cisco Unified CM が電話機を識別します。電話機をデータベースに手動で追加しておらず、Cisco Unified CM で自動登録が有効になっている場合、電話機の Cisco Unified CM データベースへの自動登録が試みられます。	「起動時の問題の解決」(P.9-1)

Cisco Unified CM データベースへの電話機の追加

Cisco Unified IP Phone を設置する前に、電話機を Cisco Unified CM データベースに追加する方法を選択しておく必要があります。電話機を追加するには、電話機タイプ別に定められた数のデバイスライセンスユニットが必要です。サーバに用意されているユニットライセンスの数によっては、電話機の登録に影響が生じる場合があるので注意してください。ライセンスの詳細については、『Cisco Unified Communications Manager System Guide』の「Licenses for Phones」を参照してください。

この方法については、次の各項で説明します。

- 「自動登録による電話機の追加」(P.2-9)
- 「自動登録と TAPS を使用した電話機の追加」(P.2-10)
- 「Cisco Unified CM の管理ページでの電話機の追加」(P.2-10)
- 「BAT による電話機の追加」(P.2-11)

表 2-4 に、電話機を Cisco Unified CM データベースに追加する方法の概要を示します。

表 2-4 電話機を Cisco Unified CM データベースに追加する方法

方法	MAC アドレスの必要性	注
自動登録	なし	<ul style="list-style-type: none"> 電話番号の自動割り当てが実行されます。 セキュリティまたは暗号化が有効になっている場合は使用できません。 <p>(注) Cisco Unified CM でセキュリティが有効になっている場合、自動登録は無効になります。その場合、電話機を手動で Cisco Unified CM データベースに追加する必要があります。</p>
TAPS を使用した自動登録	なし	自動登録および Bulk Administration Tool (BAT; 一括管理ツール) が必要です。Cisco Unified IP Phone と Cisco Unified CM の管理ページをアップデートします。
Cisco Unified CM の管理ページを使用	あり	電話機を個々に追加する必要があります。
BAT を使用	あり	複数の電話機を同時に登録できます。

自動登録による電話機の追加

電話機を設置する前に自動登録を有効にしておくこと、次のことが可能になります。

- 事前に電話機から MAC アドレスを収集することなく、電話機を追加する。
- Cisco Unified IP Phone を IP テレフォニー ネットワークに物理的に接続したときに、その電話機を Cisco Unified CM データベースに自動的に追加する。自動登録中に、Cisco Unified CM は連続する電話番号の中から次に使用可能なものを電話機に割り当てます。
- 電話機を Cisco Unified CM データベースにすばやく登録し、電話番号などの設定を Cisco Unified CM から変更する。
- 自動登録された電話機を新しい場所に移動し、電話番号を変更しないまま別のデバイス プールに割り当てる。



(注) 自動登録は、ネットワークに追加する電話機が 100 台未満の場合に使用することを推奨します。100 台を超える電話機をネットワークに追加するには、Bulk Administration Tool (BAT; 一括管理ツール) を使用します。「[BAT による電話機の追加](#)」(P.2-11) を参照してください。

自動登録は、デフォルトでは無効になっています。場合によっては、自動登録の使用が適さないことがあります。たとえば、電話機に特定の電話番号を割り当てている場合です。自動登録の有効化については、『*Cisco Unified Communications Manager Administration Guide*』の「[Enabling Auto-Registration](#)」を参照してください。



(注) Cisco CTL クライアントを通じてクラスタを混合モードに設定すると、自動登録は自動的に無効になります。Cisco CTL クライアントを通じてクラスタを非セキュア モードに設定すると、自動登録は自動的に有効になります。

関連項目

- 「自動登録と TAPS を使用した電話機の追加」(P.2-10)
- 「Cisco Unified CM の管理ページでの電話機の追加」(P.2-10)
- 「BAT による電話機の追加」(P.2-11)

自動登録と TAPS を使用した電話機の追加

自動登録と TAPS (Tool for Auto-Registered Phones Support) を使用すると、MAC アドレスを最初に電話機から収集しなくても、電話機を追加することができます。

TAPS は、Bulk Administration Tool (BAT; 一括管理ツール) と連携して、Cisco Unified CM データベースにダミー MAC アドレスを使用して追加された一連の電話機をアップデートします。TAPS を使用して電話機の MAC アドレスをアップデートし、あらかじめ定義しておいた設定をダウンロードします。

**(注)**

自動登録と TAPS は、ネットワークに追加する電話機が 100 台未満の場合に使用することを推奨します。100 台を超える電話機をネットワークに追加するには、Bulk Administration Tool (BAT; 一括管理ツール) を使用します。「BAT による電話機の追加」(P.2-11) を参照してください。

TAPS を利用するには、管理者またはエンドユーザが TAPS の電話番号をダイヤルして、音声プロンプトに従います。このプロセスが完了すると、電話機は電話番号とその他の設定値がダウンロードされた状態になり、Cisco Unified CM の管理ページでは、電話機が適切な MAC アドレスを使用してアップデートされます。

TAPS が機能するためには、Cisco Unified CM の管理ページ ([システム (System)] > [Cisco Unified CM]) で自動登録を有効にする必要があります。

**(注)**

Cisco CTL クライアントを通じてクラスタを混合モードに設定すると、自動登録は自動的に無効になります。Cisco CTL クライアントを通じてクラスタを非セキュアモードに設定すると、自動登録は自動的に有効になります。

詳細については、『Cisco Unified Communications Manager Administration Guide』の「Bulk Administration」の章を参照してください。

関連項目

- 「自動登録による電話機の追加」(P.2-9)
- 「Cisco Unified CM の管理ページでの電話機の追加」(P.2-10)
- 「BAT による電話機の追加」(P.2-11)

Cisco Unified CM の管理ページでの電話機の追加

Cisco Unified CM の管理ページを使用して、個別の電話機を Cisco Unified CM データベースに追加することができます。追加するには、まず各電話機の MAC アドレスを入手する必要があります。

MAC アドレスを特定する方法については、「Cisco Unified IP Phone の MAC アドレスの特定」(P.2-13) を参照してください。

MAC アドレスを収集した後に、Cisco Unified CM の管理ページで [デバイス (Device)] > [電話 (Phone)] を選択し、[新規追加 (Add New)] をクリックして追加を開始します。

詳細な手順および Cisco Unified Communications Manager の概念については、『*Cisco Unified Communications Manager System Guide*』の「[Cisco Unified Communications Manager Overview](#)」の章を参照してください。

関連項目

- 「[自動登録による電話機の追加](#)」(P.2-9)
- 「[自動登録と TAPS を使用した電話機の追加](#)」(P.2-10)
- 「[BAT による電話機の追加](#)」(P.2-11)

BAT による電話機の追加

Cisco Unified Communications Manager Bulk Administration Tool (BAT; 一括管理ツール) は、複数の電話機に対して登録などのバッチ操作を実行できます。BAT にアクセスするには、Cisco Unified Communications Manager の管理ページで、[一括管理 (Bulk Administration)] ドロップダウンメニューを選択します。

BAT を TAPS と併用せずに、単独で使用して電話機を追加するには、対象になる各電話機の MAC アドレスを使用します。あるいは、多数の電話機を新しく追加する場合、ダミーの MAC アドレスを使用することもできます。

MAC アドレスを特定する方法については、「[Cisco Unified IP Phone の MAC アドレスの特定](#)」(P.2-13) を参照してください。

BAT の使用方法の詳細については、『*Cisco Unified Communications Manager Administration Guide*』の「[Bulk Administration](#)」の章を参照してください。

関連項目

- 「[自動登録による電話機の追加](#)」(P.2-9)
- 「[自動登録と TAPS を使用した電話機の追加](#)」(P.2-10)
- 「[Cisco Unified CM の管理ページでの電話機の追加](#)」(P.2-10)

さまざまなプロトコルを用いた Cisco Unified IP Phone の使用

Cisco Unified IP Phone は、Skinny Client Control Protocol (SCCP) または Session Initiation Protocol (SIP) を用いて使用できます。あるプロトコルを使用している電話機を、別のプロトコルを使用するように変更することができます。

この項では、次の項目について説明します。

- 「[新しい電話機での SCCP から SIP へのプロトコルの変更](#)」(P.2-12)
- 「[使用中の電話機でのあるプロトコルから別のプロトコルへの変更](#)」(P.2-12)
- 「[SCCP と SIP が混在する環境への電話機の導入](#)」(P.2-13)

新しい電話機での SCCP から SIP へのプロトコルの変更

新しい未使用の電話機は、デフォルトでは SCCP を使用するように設定されます。この電話機を SIP を使用するように変更するには、次の手順を実行します。

手順

ステップ 1 次のどちらかの操作を行います。

- 電話機を自動登録するには、Cisco Unified CM の管理の自動登録電話プロトコル パラメータに SIP を設定します。
- Bulk Administration Tool (BAT; 一括管理ツール) を使用して電話機を設定するには、該当の電話機モデルを選択し、BAT から SIP を選択します。
- 電話機を手動で設定するには、Cisco Unified CM の管理の [電話の設定 (Phone Configuration)] ウィンドウで、SIP に関する該当の変更を行います。

Cisco Unified Communications Manager の設定の詳細については、『*Cisco Unified Communications Manager Administration Guide*』を参照してください。

BAT の使用方法の詳細については、『*Cisco Unified Communications Manager Bulk Administration Guide*』を参照してください。

ステップ 2 ネットワークで DHCP を使用していない場合は、電話機のネットワーク パラメータを設定します。「[起動時のネットワーク設定値の設定](#)」(P.3-16) を参照してください。

ステップ 3 設定の更新を保存するには、[設定情報の適用 (Apply Configuration Information)] ウィンドウの [設定の適用 (Apply Config)] をクリックし、[OK] をクリックして、電話機のユーザ電源投入サイクルを実行します。

使用中の電話機でのあるプロトコルから別のプロトコルへの変更

Cisco Unified CM に接続している Cisco Unified IP Phone で SCCP プロトコルを使用してコールの発信および受信を行っている場合に、一部またはすべての電話機で SIP プロトコルを使用するようにしたときは、電話機を登録する前に、各電話機のタイプに対応したファームウェアを SCCP から、推奨される SIP バージョンにアップグレードする必要があります。Cisco Unified CM に接続している Cisco Unified IP Phone が、そのまま使用できる新型モデルの場合は、電話機を登録する前に、工場出荷時にロードされている SCCP 電話機ファームウェアを、推奨される SIP バージョンにアップグレードする必要があります。

使用中の電話機でプロトコルを別のプロトコルに変更する方法については、『*Cisco Unified Communications Manager Administration Guide*』の「Cisco Unified IP Phone Configuration」の章、「[Migrating Existing Phone Configuration to a Different Phone](#)」の項を参照してください。

SCCP と SIP が混在する環境への電話機の導入

SCCP と SIP が混在する環境で、Cisco Unified Communications Manager の自動登録パラメータに SCCP を設定して Cisco Unified IP Phone を導入するには、次の手順を実行します。

手順

- ステップ 1** Cisco Unified Communications Manager の `auto_registration_protocol` パラメータを SCCP に設定します。
Cisco Unified Communications Manager の管理ページで、[システム (System)] > [エンタープライズパラメータ (Enterprise Parameters)] を選択します。
- ステップ 2** 電話機を設置します。
- ステップ 3** 自動登録プロトコル エンタープライズ パラメータを SIP に変更します。
- ステップ 4** SIP 電話機を自動登録します。

Cisco Unified IP Phone の MAC アドレスの特定

このマニュアルで説明している手順の一部では、Cisco Unified IP Phone の MAC アドレスが特定されている必要があります。電話機の MAC アドレスは、次の方法で特定できます。

- 電話機のアプリケーション ボタンを押し、[電話の情報 (Phone Information)] を選択して、[MAC アドレス (MAC Address)] フィールドを確認する。
- 電話機の背面にある MAC ラベルを確認する。
- 電話機の Web ページを表示し、[デバイス情報 (Device Information)] ハイパーリンクをクリックする。

Web ページへのアクセスについては、「[電話機の Web ページへのアクセス](#)」(P.8-2) を参照してください。

